

介護ビジョン

緊急特集

新型コロナの教訓 4

感染者ゼロ事業所の
軌跡

第1特集

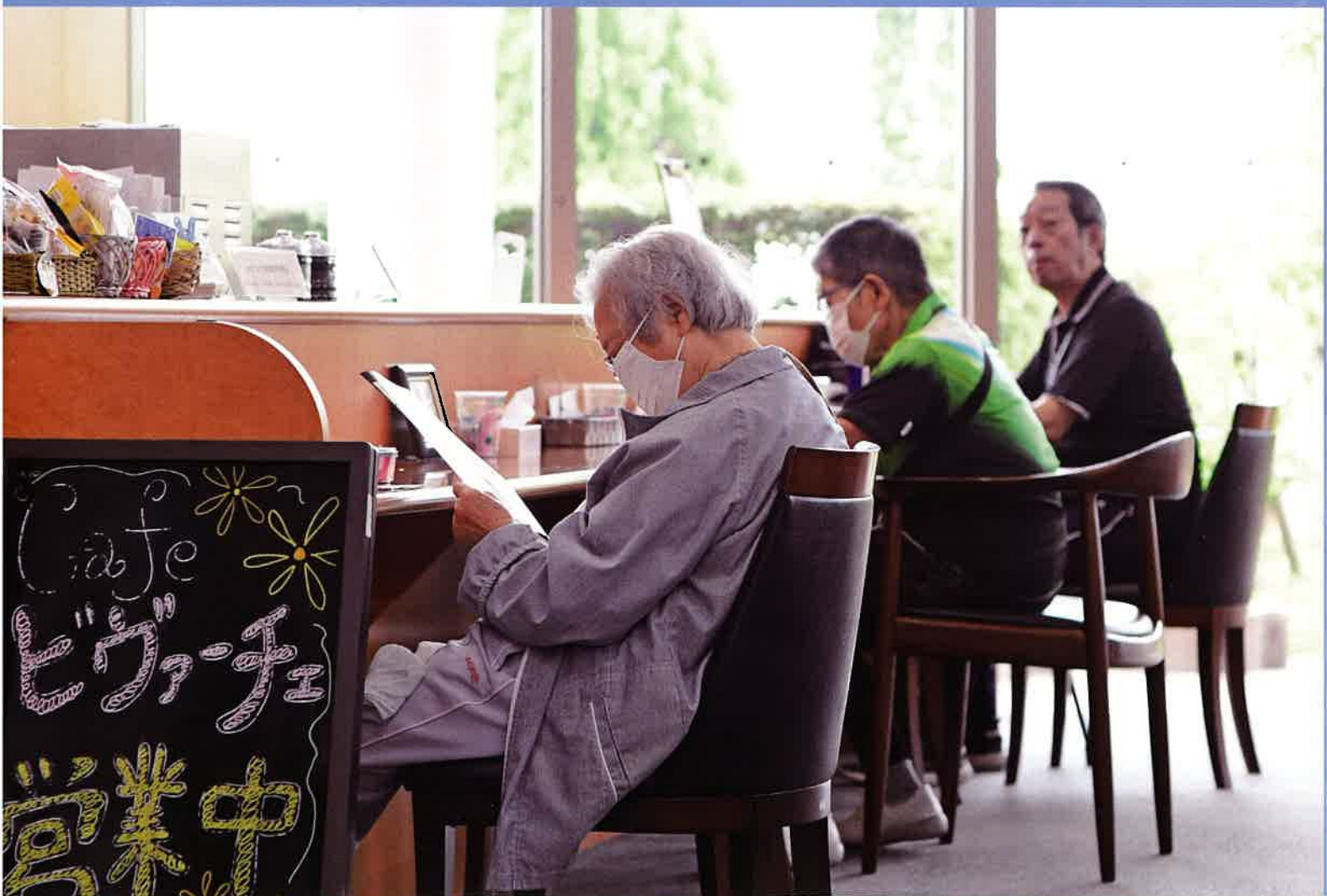
挑戦する
デイサービス
曲がり角の時代を
どう乗り越えるか？

第2特集

経営者視点で考える
これからの
介護現場の
感染対策

ケアのある風景

特別養護老人ホーム三郷さくららの杜





株式会社ケアマインド 本部副部長
森中 洋さん

株式会社ケアマインド
●兵庫県川西市けやき坂2-62-22
☎072-790-6606(代)
🌐www.caremind.co.jp/
デイサービス4か所、サービス付き高齢者向け住宅1か所、グループホーム2か所、小規模多機能1か所、訪問介護1か所、訪問看護1か所、居宅介護支援1か所など



目的意識をはっきりしたリハビリデイの特質を活かす

**目的意識をもった
メニューづくりで選ばれる**

株式会社ケアマインドは、兵庫県川西市を中心に、デイサービスのほか、サービス付き高齢者向け住宅やグループやグループホームなど複数の事業所を展開している。

デイサービスはいずれもリハビリ型。今回取材した「リハビリデイ」はサ高住との複合施設だが、積極的な営業活動もあって稼働率はコロナ以前より約10〜15%増加したという。

「目的志向リハビリ型デイサービスであり、ご利用者様・ご家族様の声にしっかり耳を傾け、その方らしい生活スタイルをいつまでも維持して頂けるよう、一緒にプランを考え、目標・目的に沿った個別メニューを提案しています」というのは、同社の本部副部長である森中洋さん。利用者自身のやりたいこと、目標・目的をもつことで、通所の動機も続きやすく、実感しやすい点で利用者の支持を集めている。

**地道な経営努力が
稼働率の向上に結びつく**

これが目玉となっているところに加えて、経営上の努力が生きたという。まず、徹底的な感染対策と情報戦略をどこよりも早期に積極的に実施した。

「アナログな方法ですが、ご家族とは連絡帳を使って、日々のやり取りをしています。それを中心に、安全対策の情報を広めました。それによって、ご家族への不安を払拭できたと自負しています」と、森中さん。合わせて、ケアマネジャーに対する情報提供もITより普通の書類のやり取りで仕事を進めているところが多いのです。ですから、こまめなファックスによる情報提供が、功を奏することが多いのです」と、森中さんは説明する。

介護保険の給付はサービス提供から2カ月後になるため、融資制度も使い切った今後、資金面の危機を迎える事業所が多くなるのではないかと

と予測する森中さん。

「特に地方都市でデイサービス単独で事業を行っている事業所は、利用控えの影響がこれから出てくるでしょう。訪問や施設などバランスよく事業規模を広げていく戦略が必要になってくると思います」と、森中さんは将来を展望する。

明確な目標を持ち、リハビリを提供することをセールスポイントに、利用者の信頼を勝ち取ってきた「リハビリデイ」はけやき坂。現在は盛況で、定員を35名から50名に拡張することも検討している。

